

にいな  
嘗へす 天甜酒 思いつつ  
あめのたむざけ

いなほ  
大和の稻穂 刈る鎌の音

令和七年九月二十二日

大中臣正比呂



「其の田の稻を以て、天甜酒を醸みて嘗す」と日本書紀にある。

神に豊穰を感謝し、収穫を祝う秋は御神酒の発祥であり、古代から日本人の喜びの表現であった。

今はトラクターで一氣に刈り取るが、昔は利鎌でザクザクと刈り取るので、腰が痛くなる重労働である。

今日は八鹿酒造の会長さんお勧めの「クリームチーズの西京焼」をGINZA SIXで買ってきた。中々の酒の肴である。